

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くすのき

公表日 8 年 4 月 30 日

利用児童数

32名

回収数 21名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1			教室もとても広く、図書室等の部屋もあり、のびのびと活動できていると感じます。	(教室環境について) ・在籍7名以上のクラスは広い教室配置とするほか、全クラス、コミュニティキッチン・プレイルーム、図書室等の室内施設を活用して運動遊びやグループ遊びを行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1	子ども一人ひとりをよく見ています。	・全体的に評価を頂き、ありがとうございます。人員配置は4:1となっておりますので、加配の加算もついています。専門性については、研修参加の機会を増やして研鑽しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		1	教室と運動する部屋が分かれており、お勉強と遊びの切り替えがしやすいと思う。	今度も子どもたちにとって過ごしやすい、分かりやすい環境作りを目指していきたいと考えています。お気づきの点などございましたらいつでもお伝えください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				整理整頓がされていて、いつでもきれいな環境だと思います。	・お子さんが安心して過ごせる環境作りを行ってまいりたいと思います。お気づきの点などございましたらいつでもお伝えいただければと思います。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				子どもにあわせて、段階を踏んで指導していただいていると感じます。	・お子さんの特性の理解のためのアセスメント実施し、一人ひとりに応じた支援の提供ができるよう努めて参ります。また2か月に1度、より専門性の高い支援が提供できるよう鳥取大学の井上雅彦先生、大羽沢子先生によるコンサルテーションを実施しており、職員の自己研鑽へと繋げています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21				個別面談を定期的に行っており、目標にそって支援していただいています。	・支援プログラムは、くすのきのホームページにて公表しております。お子様一人ひとりに応じた支援が提供できるよう5領域に沿ったプログラムを検討していきたいと考えています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				親の意見もたくさん取り入れていただき、子どもにあって作成していただいている。	・全体的に評価を頂きありがとうございます。今後ご利用されていく中でお気づきの点などございましたら、お気軽にご相談ください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		1	子どもへのサポートがとても的確で、様子を見ながら子どもにあった支援内容だと思います。	・全体的に評価をいただきありがとうございます。今後ともご理解いただけるように保護者の皆様にご丁寧な支援内容の説明を行ってまいりたいと思います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				目標に沿って行っていただき、達成できた時はとてもうれしいです。	・今後も職員間で密に情報共有を行いながら支援計画に沿った支援が行えるように努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2		1	活動プログラムだけでなく、いろいろなことをサポートしていただいていると思います。	・プログラムが固定化せず様々な活動や体験が提供できるように努めてまいりたいと思います。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11	2	4	4		・ふれ愛の郷では毎月1回、子ども食堂(ふれ愛食堂)を実施しております。季節の行事やゲーム等の催しを開催しています。岡垣町だけでなくどの地域にお住まいでもご参加いただけます。食堂の様子は、インスタグラムや臨内に報告を掲示しております。また、ご不明な点等ございましたら、職員までお尋ねください。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				入園する際に説明会に参加し、資料が分かりやすく、説明がありました。	・新規利用の保護者の皆様には入園説明会にてご説明をする時間を設けております。料金内容や加算の適用について、ご不明な点などございましたら、ご相談ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21				面談の時に、細かく説明していただいています。	・今後も、丁寧で分かりやすい説明を心がけていきたいと考えています。計画について、ご不明な点等ございましたら、職員まで遠慮なくお伝えいただければと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21				ペアレントトレーニングでは、他の保護者の方とも交流でき、情報交換ができています。	・今年度は、年6回コースにてペアレントトレーニングを実施いたしました。多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございます。令和7年度もペアレントトレーニングを実施予定ですので、よろしければご参加いただければと思います。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	21				連絡帳で事細かく教えていただき、たくさんアドバイスがいただけています。	・送迎時や連絡帳、必要に応じてお電話で、お子さんの状況をお伝えさせていただいています。ご不明な点などあればお伝えいただければと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				面談だけでなく、送迎の際にもアドバイスや相談事にも丁寧に教えていただいています。	・年に3回、家庭訪問と個人面談を実施しています。上記以外でも必要に応じて面談を実施しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				できたことが増えた時は一緒に喜んでいただいたり、とてもうれしく思っています。	・ご不安やご心配ごとも多くあるかと思えます。まずはお話を伺っていくなかで、共感し寄り添った支援が提供できるように努めて参ります。ご不安なこと等あればお伝えいただければと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	1	2	保護者会では他の保護者の方との情報交換ができ、とても助かります。	・さつま手の芋苗植えなど保護者会の皆様とともに交流をもつ機会も設けています。またきょうだい同士の交流については夏祭りやみかん狩りといった行事にて設けております。次年度は、土曜参観等も計画立てておりますので、
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			2	相談した際は、すぐにアドバイスをいただき、安心してしています。	・いつでも相談体制を整えております。引き続きご不安やご心配なことがありましたら、職員までお伝えいただければと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				連絡帳でも教えていただいているし、送迎時など細かく教えていただけています。	・全体的に評価を頂き、ありがとうございます。今後も利用されていく中で、ご不安なことや疑問点などございましたら、お気軽にご相談ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			3	ホームページ等は分らないですが、月間予定や年間行事のプリントで共有されている。	・月1回、園日よりクラスだよりにて活動の様子や行事予定についてお伝えさせていただいています。園だよりに記載のQRコードにてブログや自己評価結果等もご確認いただけます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					・引き続き個人情報の取り扱いには十分に配慮してまいりたいと思います。年度の途中で個人情報の同意について変更がある場合は遠慮なくお申し付けください。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2		4	避難訓練など定期的に行われている。	・マニュアルにつきましては保護者の皆様が自由に閲覧できる環境作りが行うことが出来ず、申し訳ございませんでした。今後の課題として、ホームページ上に確認ができるようにするなど保護者の皆様にマニュアルの自由な閲覧、また訓練内容が見えやすいように取り組み内容を発信していきたいと思えます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2		1	避難訓練など定期的に行われている。	・防災訓練として月に1回、火災時を想定した訓練を行っています。年に1回は、施設全体で非常災害訓練を行い、消防士による助言を頂いています。今後はインスタグラムや園だよりにて取り組み内容を発信していきたいと思えます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21				入園説明会の時に説明がありました。	・引き続き安全確保には十分に配慮し支援を行ってまいりたいと思えます。お気づきの点がございましたらお気軽にお伝えいただければと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2	入園説明会の時に説明があり、資料もいただきました。	・万が一事故が発生した場合、速やかに状況や怪我の具合等の説明を行わせていただくよう心がけています。説明が曖昧で不十分とならないよう事実確認をしっかりと行い、丁寧な説明ができるよう努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21				毎日、笑顔いっぱい通所していて、先生方もとても優しく安心しています。	・今後も安心感を持って通園ができるようお子さんと信頼関係を築いてまいりたいと思っております。楽しかった、またくすのきに来たいと思ってもらえるような支援の提供をおこなってまいりたいと思えます。園生活のなかでご不安な点や疑問点などがあればいつでもお伝えください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21				家をでる時間になると、自分から玄関へ行って靴をはいて、うきうきで家を出ています。	・全体的に通園することを楽しみにしてもらっているようで安心しております。しかし、年度初めであったり、その時のお子様のコンディションによって通園することに対して疲れを感じることもあるかもしれません。既存の療育活動はありますが、その時のお子様の生活リズムも含めて支援の提供はしていきたいと考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				できることがとても増え、先生方の毎日のサポートに感謝しています。	・全体的に満足いただいております。今後もよりよい療育の提供ができるよう努めて参ります。園生活の中でご不安な点や疑問点などがあればいつでもお伝えください。よろしくお願いたします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くすのき

公表日 令和8年 4月 30日

利用児童数 19人

回収数 12枚

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					・お子様が集中しやすい環境で個別療育に対応できるよう部屋を設置しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		・国が定める人員配置基準にそって、児童指導員2名、臨床心理士または言語聴覚士を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					・今後ご利用されていくなかでお気づきの点がございましたらお気軽にご相談ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					・お子様が集中しやすい心地よい環境となるよう引き続き清潔を保っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				・助かってます。検査もできました	・お子様の特性に応じ、専門職がプログラムを作成し実施しております。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					・支援プログラムについてホームページにて公開しております。今後もプログラムにそって支援を行ってまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					・今後もお子様、保護者の皆様のニーズや課題をしっかりと把握し計画に反映できるよう努めてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			2		・お子様、保護者の皆様のニーズ把握を十分に行い、専門職と連携しながら5領域にそった支援、計画が立案できるよう努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		・専門職と連携を図りながら計画にそった支援が行えるよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					・個別療育の内容について、お子様、保護者の皆様と具体的にお話を伺いながら検討してまいりたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		3	3	・訓練のみなのでありません。 ・ふれ愛食堂に参加しています。	・くすのきで実施しております放課後等デイサービスにおいては個別療育のみの内容ですので他の児童との交流はプログラムに入れておりません。 ・月に1回、第4土曜（変更の場合あり）に子ども食堂（ふれ愛食堂）を実施しております。お気軽にご参加ください。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					・引き続き丁寧な説明に努めてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					・引き続き丁寧な説明に努めてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11			1	・仕事なので土日にあると思う。 ・いつも助けられます。ありがとうございます。	・令和8年度ペアレントトレーニングの詳細については検討中です。また今後、研修会等の開催も検討していきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12					・今後も発達状況や課題について共通理解ができるように継続してまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12				・個別療育時の専門職からのフィードバックはもちろん、計画書の説明時等、お子様、保護者の声をお聞きする時間を定期的に設けてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・親身に聞いてくださって助けられています。 ・専門職、職員ともにお子様、保護者の皆様に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11			1	・くすのきで実施しております放課後等デイサービスは個別療育のみとなりますので、交流はプログラムに入っておりません。ご了承ください。しかしながら、何か交流をする機会を持つことが出来ないかと思案しているところです。会の設立までは難しいかもしれませんが、くすのきで主催する講演会や研修会、OB会などがある場合はお声かけさせていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・相談や申し入れについていつでも受け付けております。また直接相談しにくいことなどについても第三者委員、お住まいの市町村、または岡垣町役場への申し入れもできます。お気づきの点がございましたら、いつでも遠慮なくお伝えください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・今後も専門職ともにお子様、保護者の皆様が安心して意見を表明できるよう努めてまいります。お気づきの点がございましたら、お気軽にご相談ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			4	・今後の課題としてInstagramやホームページを活用しお子様や保護者の皆様へさまざまな情報をスピーディーに発信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				・引き続き個人情報取り扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1	・マニュアルについてはくすのきでそれぞれ作成しております。今後の課題として保護者の皆様に自由な閲覧、また訓練内容が見えやすいように取りくみ内容をInstagramにて発信してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			4	・くすのきで実施しております放課後等デイサービスは個別療育のみとなりますので、療育時に訓練は行っておりません。ご了承ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2	・くすのきに安全計画を作成しております。引き続き個別療育を実施するにあたり、安全の確保を十分に行い、環境を整えてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			2	・個別療育中に事故が発生した場合は、同席いただいている保護者の方と連携しながら適切に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				・子どもにとって心のより所です。 ・今後も安心感をもっていただけるよう努めてまいりたいと思っております。何かお気づきの点がございましたらお気軽にご相談ください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				・行きたい！と言ってくれます。 ・毎回楽しみに行ってます。 ・個別療育を楽しみにしてもらえよう安心しております。何かお気づきの点がございましたらお気軽にご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・今後もよりよい支援を提供していけるように保護者の皆様、お子様と連携を図ってまいりたいと思います。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	くすのき	公表日	8年 4 月 30 日
------	------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・在籍7名以上のクラスは広い教室配置とする等、人数に合わせて教室を設定している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人員配置は適切であり、配置等加算もついている。 ・配置数は適切であるが、出席人数等によっては他のクラスの職員が手伝いに入ったりと臨機応変に対応が出来るように配慮している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・写真や絵カードなどを用いて視覚的支援も活用し、分かりやすい構造化された環境が提示できるように工夫している。	・職員間で設備等の点検や検討を行っていきながら全ての方が使いやすい事業所作りを行っていく必要があると考える。 ・こどもの状況は常に変化していくので、教室環境も常に工夫していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・教室では掲示物を少なくするなど、刺激を減らすように工夫している。 ・降園後に、教室や廊下、トイレ等の掃除・消毒を必ず行っている。また、洗面台使用後は転倒防止のために周辺の拭き掃除を行っている。	・コロナ禍ではなくなっているが、引き続きインフルエンザ等の感染症の流行期には換気や消毒等はしっかりと行い安心して活動が行える環境を作っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・プレイルームや和室、心理室等を個別支援が必要な場合に使用している。また、部屋を区切って、個別の対応ができるような工夫をしている。	・こどもの状況は変化していっているので、その都度教室環境は変えていく必要があると感じる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・正規職員については、目標管理シートまた自己評価の記入をし業務改善に努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年度末に保護者向けの評価表をつけていただき、いただいた意見については施設長へ相談し改善へと繋げている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議や日々の関わりの中で意見把握し、施設長へ相談し改善へと繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は実施していない。	・今後は必要に応じて第三者による外部評価を実施することを検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修はもちろん外部講師によるコンサルテーションを実施し自己研鑽に努めている。	・研修報告だけでなく全職員に向けた伝達研修も引き続き行っている。
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムについては、県への提出とホームページにて公表は完了済みである。	・現在文章のみで記載したプログラムであるため、保護者の方へわかりやすいような表なども用いながら作成していくように検討している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・臨床心理士等の専門職等、関係する職員と連携しながら子どもたちや保護者のニーズや課題を分析するよう工夫している。	・アセスメントについては、専門職以外も日々の療育の中でチェックできるもの(キッズや円城寺式等)を活用していく。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・クラス職員、言語聴覚士や臨床心理士等の専門職等、チームアプローチで検討している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・写真や絵カードなどを用いて視覚的支援も活用し、分かりやすい構造化された環境が提示できるように工夫している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・LCスケールやWISC、田中ビネーを用い、アセスメントを実施している。	・インフォーマルなものも使用しながらも客観的に状況を把握できるようフォーマルなアセスメントツールを誰でも使用できるようになるとよい。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援の提供すべき支援の項目について、適切な設定が出来るよう努めている。また、それに加えて5領域についてもすべて網羅できるようにしている。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月案を作成している。 ・活動については、クラス職員間で検討し立案している。	・クラス職員間だけでなく、言語聴覚士や理学療法士、作業療法士といった専門職員にも助言いただきながら活動の立案をしていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動については、クラス間で検討し固定化しないようにバリエーションを広げているよう工夫している。	・運動遊びや音楽遊び、制作などクラス単位のものはもちろん、グループ活動等もうまく活用しながら固定化しないよう工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動と集団活動を組み合わせながらこどもたちの、できたが増えていけるように努めている。	・より専門性の高い支援を提供できるよう専門職員と連携し情報共有しながら、支援を行っていく必要があると考えている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前に朝礼を行い、伝達事項や確認事項を職員間で確認しあっている。パート職員へは、伝達ノートを使用し周知している。	・伝達に漏れないよう伝達ノートまたは口頭で伝えるなど状況に合わせていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	・支援終了後には必ず行えない場合もあるため、次の日の支援開始前や午睡時等に振り返りを行っている。	・支援終了後だけでなく、午睡時や翌日の支援開始前などの時間も活用し共有していく。また、伝達ノート等も活用し情報共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・クラス日誌、保育日誌を毎日記載している。また、動画等も活用しより高い支援が提供できるよう努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年2回モニタリングを行っている。 ・見直しについては、クラス職員、訪問支援員、児童発達支援管理責任者等で行っている。	・臨床心理士等の専門職員とも連携を図りながら、支援計画書の見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者はもちろん、必要に応じてクラス担任や保育所等訪問支援事業担当職員も会議の場に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保健師、嘱託医、相談支援員、教員等のこどもにかかわる関係機関と連携し支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育所等訪問支援事業を実施し、保育所や幼稚園等と情報交換と共有を行っている。 ・併行利用や移行に向けた支援については、保護者の意向を大切にしながら寄り添い慎重に行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・地域の教育委員会、小学校や特別支援学校と連携し情報提供、共有を行っている。 ・岡垣町では保幼小連絡会、特別支援コーディネーター会に参画している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○	○	・他の児童発達支援センターや事業所との連携については、療育センターや相談支援事業所の運営もしている事業所とは情報交換や共有等を行ったが、その他は行っていないことがほとんどである。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・鳥取大学の井上雅彦先生、大羽沢子先生によるコンサルテーションを実施している。 ・外部研修についても積極的に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会については実施が不透明である。 ・岡垣町のこども政策推進協議会に参加しており、地域福祉に関わっている。	・自立支援協議会について本格的な運営が始まった際には積極的に参画をしたい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	・くすのきの活動では機会がない状態である。 ・法人の地域貢献活動として「ふれ愛食堂（こども食堂）」を実施している。その中で、地域のお子さんと活動する機会を設けている。	・食堂についてもう少し知っていただくような広報活動をしていく必要があると感じる。園だよりにお知らせを載せるなどしていく必要がある。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時、連絡帳、面談等でこどもの状況を伝えている。また、家庭での様子等も聞き取りながら療育の場面で活かしている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年6回コースにてペアレントトレーニングを実施した。また、年齢や利用の仕方等でグループ編成するなど、実施するにあたり工夫した。 ・保護者会と連携し、就学の流れについての勉強会を行った。	・引き続きペアレントトレーニングを実施していく。また、保護者会と連携しながら保護者のニーズにそった勉強会を実施していきたいと考える。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・入園説明会や始園式後のオリエンテーションにて、説明を行っている。	・丁寧で分かりやすい言葉選び等は、引き続き工夫していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・職員の主観で作成しないよう留意している。 ・家庭訪問や面談、または送迎時等において子どもや保護者の意思に寄り添い、意向を確認している。	・傾聴の姿勢や寄り添いの姿勢といったソーシャルワークの視点について職員が意識していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・面談や家庭訪問の際に、必ず計画書を提示し説明を行い同意を得ている。	・より分かりやすい説明や分かりやすい表記で児童発達支援計画の設定を行うようにしていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・家庭訪問や個人懇談を実施している。また、これら以外においても必要に応じて面談を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・夏祭りやみかんがり、運動会等できょうだい児も楽しめるプログラムの行っている。 ・保護者会にて保護者交流する機会を設けることが出来るよう支援している。	・保護者交流会等の保護者同士が交流できる場の提供を考えていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談を受け入れた際には、迅速に相談の場を整えて対応するように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月1回、クラスだよりと園だよりを発行し保護者へ発信している。また、行事後はInstagramを更新するように努めている。	・Instagramを定期的に更新し発信していくよう努めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報については同意書にそって取り扱いに十分には配慮し取り扱っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・わかりやすい言葉で区切って伝える、また必要に応じて視覚支援を用いながら伝えるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・行事への招待は出来ないが、「ふれ愛食堂(子ども食堂)」を実施している。 ・実習生の受け入れを積極的に行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルについて作成はしているが、保護者への周知は出来ない。 ・防犯研修、避難訓練等を実施している。	・マニュアルについては、HPやInstagramにて公開するなど保護者が自由に閲覧できるようにしていく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPの策定は完了している。必要に応じて更新や訓練を行っているようにする。	・訓練については座学を含めて、職員間で周知徹底できるように努める。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・入園前に健康調査票を記入していただき、把握している。	・変更があった場合には速やかに追加で記入していただくなど漏れがないようにしていく必要がある。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・入園前にアレルギーに関する調査票の記載をお願いしている。	・変更があった場合には速やかに追加で記入していただくなど漏れがないようにしていく必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成は完了しており、ホームページにて公開している。 ・避難訓練、防犯研修等の実施をしている。	・避難訓練については、座学も含め内容が固定化しないよう留意する。非常用の滑り台を使用した避難についても再度行っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・家族への周知ができていないため、園だよりやクラスだより、ブログ等にて発信していく必要がある。	・保護者への周知については、HPやInstagram等を活用し発信していくようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットは日誌に記入することで、気軽に出し合えるように工夫している。	・気軽に出し合えるようにしているが、なかなか記載が継続して続かないため、検討していく必要があると考える。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年1回、必ず身体拘束・虐待防止についての研修を実施している。また、チェックリストやストレスチェックも活用している。	・研修内容については、大切なポイントは抑えつつ情勢を加味しながら選んでいく必要があると感じる。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在までに身体拘束を実施していないが、身体拘束についての研修は年に1回、必ず実施している。	・3原則について職員と確認しているが、どのような場合に行うかについては検討していく必要がある。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		くすのき		公表日		令和8年 4月 30日		利用児童数		49		令和8年 3月 31日		回収数		39	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応								
			19	1	0	19	—										
環境・体制整備	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	36	0	0	3	—		・面接室としてご活用いただけるお部屋として会議室2室、和室1室のご用意がございます。その他にも図書室、個別訓練用の心理室の活用も可能です。大事なお話を個別にゆっくり伺うことができるスペースを整えております。								
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	37	1	0	1	—		・全体的に評価をいただきありがとうございます。引き続きご利用開始にあたりご説明につとめます。								
環境・体制整備	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	34	4	0	1	—	・相談してくださっています。	・日程調整にあたりましては、訪問先の窓口に当たる方がどなたになるか年度ごとに確認し、調整にあっております。頻度や時間については、お子さまやクラスの状況を訪問先の先生と確認しながらその都度決定しております。								
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	34	4	0	1	—		・くすのきにて業務従事18年目にあたる職員が専任で担当しております。また、近年保育所等訪問支援事業のご要望が増加していることも鑑み、事業の安定した運営はもちろんのこと、体制の拡充も視野に入れながら、今後も体制を整えてまいります。								
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	1	0	1	—	・行事に出ることができました。 ・よく理解してくださっていると感じます。	・就学前・就学後ともに、本園の通園や個別の心理療育を併用する形のご利用が多く、本事業担当のみでなく多職種で多角的にアセスメントし、支援内容に活かしております。2か月に1度鳥取大学の井上雅彦先生、大羽沢先生によるコンサルテーションを実施して、それぞれの職員の資質向上を目指し、より専門性の高い支援の提供と体制づくりをしております。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	2	0	1	—	・毎回とても分かりやすく書いてくださり、様子が伝わります。 ・報告書でとても細かく報告してくれていると思います。	・全体的に評価をいただきありがとうございます。今後も面談などでご要望をおききしながら、成長とともに変化化する課題やニーズの把握に努めております。								
適切な支援の提供	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	34	2	0	3	—	・訪問先の意向に沿っていると思います。 ・定期的に内容を教えてくれます。	・訪問の度に面談等にて情報共有する事はもちろん、年度はじめには先生方にも本園独自のアンケートを実施し、意向や方針の把握に努め、計画書に反映しております。								
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	6	—	・ガイドラインの内容についてはわかりません。	イトライでは、訪問支援員は当該のお子さまの育ちとニーズをともに保障した上で、訪問先の保育所等が大事にしている理念や支援方法を尊重しながら、地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を推進する役割の担うことが期待されております。訪問先の先生方への支援・必要時にはご本人さまへの支援・ご家族への支援を軸に今後も実施してまいります。								
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1	0	1	—		・全体的に評価していただきありがとうございます。今後も計画書にそった支援を実施してまいります。								
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	36	0	0	2	—		・全体的に評価していただきありがとうございます。訪問支援が、訪問先の方針や理念にそったものであるよう、また、現状に即したものであるよう配慮し、関係づくりにつとめながら支援してまいります。								
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	3	—		・新規ご利用開始の際に個別に面談の上ご説明しております。通園との並行ご利用の方につきましては、入園説明会でもご説明しております。料金内容や加算の適用など、ご不明な点などございましたらいつでもご相談ください。								
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	0	0	0	—	・くわしく伝えてくれた。	・全体的に評価していただきありがとうございます。今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけてまいります。計画書についてご不明な点やご希望などがございましたら、いつでもご相談ください。								
保護者への説明	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	37	0	0	2	—	・サポートブック作りが楽しかった。 ・数回の参加でしたが、とても勉強になりました。 ・数回の参加でしたが、とても勉強になりました。 ・今年度は、年8回コースにてペアレントトレーニングを実施しました。多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございます。令和8年度も予定しておりますので、よろしければご参加ください。 ・ペアトレとても参考になりました。ありがとうございました。	・今年度は、年8回コースにてペアレントトレーニングを実施しました。多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございます。令和8年度も予定しておりますので、よろしければご参加ください。								
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	37	0	0	2	—		・お電話やお手紙のほか、通園や心理等の個別療育ご利用のためにご来所の機会をとらえて、状況や課題をお伝えしております。進路決定の時期にあたる方については、進路についても状況を共有しました。								
保護者への説明	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	2	0	1	—	・いつもきいてもらっている。 ・いつも相談ののってもらっています。	・定期的に個人面談を実施しております。ペアレントトレーニングご利用の方につきましては、その機会でもお話し合いをいたしました。面談・家庭訪問はご希望によりいつでも可能ですので、ご相談ください。								

明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	1	0	1	—	・いつも話をきいてくださり、寄り添っていただいています。	・子育てにおいて迷いや悩みはつきないと思います。ともに考え、ともに歩む事業所でありたいと考えております。どうぞこれからもいっしょに考えさせていただければと思います。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	0	0	3	—		・いつでも相談体制を整えております。引き続き、ご不安やご心配なことがございましたら、職員までお伝えいただければと思います。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	1	1		・全体的に評価していただきありがとうございます。今後も利用させていただく中で、ご不安や疑問点、あるいは「このように伝えてほしい・知らせてほしい」などのご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2	1	・園長先生のおすすめでした。 ・訪問先の先生にもしっかりお話しして下さっています。	・各訪問先の管理職の先生、担任の先生、支援員の先生と、それぞれのお立場や役割にそったお話し合いをしております。必要時には直接観察の日時は別の機会に面談や会議の設定をしております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	35	1	0	2	1	・報告書にてお知らせいただいています。	・その場でのフィードバックはもちろん、訪問先のご希望を伺った上で、直接観察とは別に面談や会議を実施して内容検討しております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	36	1	0	1	1		・実際見ていただくことができない部分であるため、訪問先の先生方とのやりとりや実施内容について報告書などを介して丁寧にお伝えしてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	2	0	7	1		・「更生会ふれあいの郷くすのき」ホームページにて情報発信しており、自己評価結果等もご確認いただけます。また、令和8年4月よりインスタグラムも開設いたしました。アクセスには、本園パンフレットや園だよりに記載のQRコードもご利用ください。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	1	1		・全体的に評価していただきありがとうございます。引き続き個人情報の取扱いには十分に配慮してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	25	0	0	13	1		・災害等の有事においても、お子さんに不利益が生じないよう事業の継続を確保することが大切であると考えておりますが、有事の連携の仕方について訪問先施設と具体的な取り決めを行うことはできておりません。課題と考えます。 ・お子さんご本人への支援という観点：避難訓練など緊急時の対応は、例えば突発的なことが苦手な特性をもつお子さんにとっては難しい課題だと思われれます。児童発達支援センターとして防災や災害の訓練を実施しておりますが、訪問先の各施設においても大切な訓練を実施することができるように、配慮点や工夫点についてお伝えしてまいります。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	0	3	1		・児童発達支援センターとして、引き続き安全確保に十分配慮し支援を行ってまいりたいと思います。お気づきの点がございましたらお気軽にお伝えいただければと思います。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	38	0	0	0	1	・嫌がることなくがんばっています。 ・訪問日のお知らせがあり、安心して支援を受けています。 ・安心するようで楽しみにしているようです。	・子どもたちも訪問を楽しみにしてくれているようで安心いたしました。子どもたちにとって「見られる」ことが気持ちの上での枷になるのではなく、「見ていてくれる」「応援してくれる」「考えてくれる」安心感につながるよう今後も支援してまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	36	2	0	0	1	・とても満足しています。 ・いつもありがとうございます。	・全体的に評価していただきありがとうございます。今後も、支援内容がより充実したものとなるよう研鑽に励むとともに、保護者様や訪問先施設はもちろんのこと各関係機関とも連携をはかり、地域の支援力アップにつなげていきたいと思っております。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
くすのき		令和8年 4月 30日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	0	0	・とてもわかりやすく説明してくださいます。 ・“その子”に合った支援法、声かけを具体的に教えてくださり、またすぐに準備ができ取り入れられるものなので、とても助かっています。	・これからも、現場の先生方にとってイメージしやすく取り組みやすいように、より具体的にわかりやすい説明や方法を心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	14	0	0	・専門家らしく説明してくださいます。 ・深い知識と経験、技術の多さを持たれているからこそ①の具体策につながると思います。	・ありがとうございます。例えば「視覚支援」の具体的な方法や、「ABA」にの考え方に基づくアプローチ等、療育の視点をういた方法も多数ございます。保育の現場で取り入れやすい方法をいっしょに考え、ご提案できればと考えております。ご希望等いつでもお伝えください。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	0	0	・丁寧に応対してくれる。 ・明確なアドバイスで日々の保育につながります。	・困りごとや課題は一定ではなく、解決策が一つではないため、発達に気がかりなことがあることもさんへの対応で苦慮されることも多いかと思えます。その時々でのアプローチを考える上でのチームの一員に訪問支援員も入れていただきたく考えております。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	14	0	0	・もちろんです。 ・行事参加の対応ができました。 ・対象児のほかにも、この支援法が合うのでは、という子に実践できたり、子どもの発達の観察が深まったりしています。	・インクルーシブ教育の視点を取り入れた一斉指導、現場の先生方のご尽力に頭が下がります。本事業が少しでもそのお役に立つことができたいと思います。また、その場でいっしょに検討するだけでなく、支援してみた結果どうであったかについて、長期的な視点でお話させていただければと考えております。
5	事業所からの支援に満足していますか。	14	0	0	・とても満足しています。(2)	・過分な評価をいただきありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・いつも丁寧に子どもたちの様子を伝えてくださるので、職員も感謝しています。訪問も密にしてください、連携がスムーズにできるのでありがたいです。来年度もよろしくお願ひします。</p> <p>・いつも行き届いた対応をしてください、大変助かっています。今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>・いつも丁寧に対応していただきどうもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします。</p> <p>・経験豊かな知識を現場の職員に寄り添う支援をしていただきました。一年を通して訪問支援いただき、クラス全体で早野先生からいただいた助言を活用させてもらいました。子どもの成長を見ることができ、また職員の自信にも繋がったと思います。ありがとうございます。</p> <p>・いつもご助言いただきありがとうございます。発達や支援方法だけでなく、早野先生の言葉かけのチョイスや口調、スピード、安心できる雰囲気など、人としての学びが多々あります。今後ともよろしくお願ひいたします。</p>					<p>「くすのき」の保育所等訪問支援事業は、就学前のこどもさんについては、①児童発達支援事業による週2日の併用クラス通園、②心理・言語・作業・理学の個別専門療育、この2つの取り組みも併行してご利用いただきながらすすめることを基本としております。小学生以降のこどもさんについては、就学後のフォローアップの視点から通園の卒園児さんを中心にすすめております。心理個別療育もあわせて利用されている方も多く、臨床心理士が成長の様子はもちろん学習の進捗状況も確認しながら、本事業と情報共有しながら、その時々によりよい支援につなげることができるよう留意しております。</p> <p>保育・教育の視点とは異なる療育の視点を取り入れることで、発達で気になることがあるこどもさんにとってはもちろんのこと、すべてのこどもさんにとって、よりわかりやすく・よりやりがいのある・“やってみたらできた”達成感を味わうことができる環境整備や経験の積み重ねのお手伝いができればと考えております。訪問による観察とフォローアップはもちろん、別途面談・会議開催や、ご希望によっては勉強会の開催も可能です。お気軽にご相談いただければと思います。</p> <p>保育園・幼稚園・小学校等、地域で保育・教育に携わる先生方に、私ども「くすのき」の療育へのご理解・ご協力をいただいておりますことを深く感謝しております。育ちや暮らしにおいて何かしら特別な配慮が必要なお子様への支援を考える「チーム作り」のお手伝いができればと考えております。訪問のすすめ方については、保護者様や、園や学校のの方針やご希望にそってすすめてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くすのき		公表日		令和8年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
						環境・ 整備・ 運営・ 体制	1
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・専属で1名が従事している。 ・併用クラス（児童発達支援事業・通園）担当者も同行する機会を設けた。	・保育所等訪問支援事業のニーズが年々増えている。引き続き後進の育成も視野に入れながら体制を整えていく。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・正規職員については、目標管理シートまた自己評価の記入をし業務改善に努めている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年度末につけていただいた保護者向け評価表にていただいた意見については施設長へ相談し改善へと繋げている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議や日々のかかわりのなかで意見把握し、施設長へ相談し改善へとつなげている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は実施していない。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修参加はもちろん、外部講師によるコンサルテーションを実施し自己研鑽に努めている。あわせて事業所内で実践報告会を実施した。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・児童発達支援事業の通園担当者や臨床心理士等の専門職と常に連携しながら、子どもたちや保護者のニーズや課題を分析するよう工夫している。	・アセスメントについては、専門職によるもの以外にも、観察やチェック回答にて実施可能なもの（KIDS等）の活用を検討する。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・「児童発達支援センター」として、児童発達支援事業の方の通園クラス担当職員、言語聴覚士・臨床心理士等の専門職等、チームアプローチで運営している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・訪問ごとの情報共有や定期的な会議にて意見交換をし、計画書の内容に反映している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・作成段階より児童発達支援事業通園担当者や各専門職と連携し、内容共有するとともに、双方での実施状況について常に意見交換している。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・児童発達支援事業と連携し、LCスケール、WISC-IV、田中ビネーなどを用いたアセスメントを実施している。	・訪問のみご利用の方のアセスメントについては行動観察によるインフォーマルなアセスメントは実施しているものの、フォーマルなアセスメント施行は難しいのが現状である。しかし、訪問にて個別のアプローチが重要だと思われるケースについては、本園個別療育（児童発達支援事業ならびに放課後等デイサービス）のご利用をおすすめして、専門職との連携強化をはかり対応している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保育所等訪問支援事業で提供すべき具体的な内容を踏まえながら、適切な支援を行うことができるよう努めている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・児童発達支援事業の通園担当職員との間で、双方の計画書と同じ方向性で作成した上で内容共有し、支援状況について常に話し合いを行っている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・訪問するにあたって、通園担当職員や個別療育担当の専門職と直近のご本人の状況や課題を確認・共有し、訪問でのアプローチに活かしている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・訪問実施後は集団での課題などを持ち帰り、通園及び個別療育担当の専門職と情報共有をしている。通園活動や訓練での内容に反映している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問時に当該のおこさんのみ、あるいは、当該クラスの様子だけを観察するのではなく、園全体の様子も拝見するように努めている。管理職の先生に保育・教育の方針について確認しながら支援をすすめている。	・訪問先の理念や状況、先生方の強みに即したものでないと、活きた支援とはならないと考える。一方的に伝える支援ではなく、ともに「チーム」として、持ち寄り・作り上げる支援を心がけていきたい。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・観察シートにてリアルタイムで記録を取り、それをもとに報告書を作成している。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年度初め、年度の途中、年度終わりなどの節目に保護者様と面談等を実施している。訪問先については訪問ごとに随時確認するとともに、年度の節目に次年度の方向性について確認を行っている。アンケートや自己評価表も活用している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・本事業ご利用のケースについては、訪問支援員が参画している。療育の通園での様子、地域の保育所等の集団での様子、双方の状況や課題について報告を行っている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・訪問先の先生方はもちろんのこと、各市町の福祉課、保健師、嘱託医、相談支援員、各市町の教育委員会と連携し、支援を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・地域の教育委員会、小学校や特別支援学校と連携し情報提供、共有を行っている。 ・岡垣町では幼保小連絡会、教育支援委員会に参画している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・鳥取大学の井上雅彦先生、大羽沢子先生によるコンサルテーションを実施している。 ・外部研修についても積極的に参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会については実施が不透明である。 ・岡垣町の子ども制作推進協議会に参画しており、地域福祉にかかわっている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・通園ご利用の方については送迎時、連絡帳や手紙、共同の面談等で子どもの状況を伝えている。個別の療育をご利用の方については療育のためにご来所の際に必ず情報共有をしている。また、双方について、必要時にはすぐに電話連絡を行っている。	・訪問のみご利用の方については電話と手紙による共有をしているが、仕事をされており連絡時間帯に制約がある保護者の場合、リアルタイムでの共有の仕方については課題と考える。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年8回コースにてペアレントトレーニングを実施した。 ・保護者会と連携し、就学の流れについての勉強会を行った。	・引き続きペアレントトレーニングを実施していく。また、保護者会と連携しながら保護者のニーズにそった勉強会を実施していきたいと考える。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・入園説明会にて説明を行っている。訪問のみの方については利用開始にあたり個別に説明を行っている。	・丁寧でわかりやすい言葉遣い等は、引き続き工夫していきたい。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・新規訪問開始の際、また、異動のあった年度の節目にはご挨拶もかねて、管理職の先生に必ず書面にてご説明して、ご理解ご協力をいただけるよう留意している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・職員の主観で作成しないよう留意している。 ・面談等で保護者の意向を確認している。 ・おこさんの様子を日頃から観察・アセスメントして、本人にとってのQOLの向上につながることを念頭に計画書を作成している。	・傾聴の姿勢、寄り添いの姿勢といった、ソーシャルワークの視点について意識して行う。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		・面談や家庭訪問の際に、必ず計画書を提示し説明を行い同意を得ている。	・計画書作成に際して分かりやすい表記を心がけ、説明に際して、より分かりやすい説明を行うよう留意する。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・個人面談や家庭訪問を実施している。また、これら以外においても必要に応じて面談を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・通園（児童発達支援事業）については保護者会があし、運営支援をしている。保護者交流の機会のひとつとして、畑に関することや勉強会の企画・実施のお手伝いをした。 ・通園との併用の方については、夏まつりやみかん狩り、運動会等で、保護者交流ならびにきょうだい児も楽しむことができるプログラムを提供している。 ・訪問のみご利用の方については、ペアレントトレーニングも交流の場のひとつとして活用している。	・保護者交流会等の保護者同士が交流できる場の提供を考えていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談を受け入れた際には、迅速に相談の場を整えて対応するように努めている。迅速な対応が求められる相談があった場合は家庭訪問等も即時実施した。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・通園もご利用の方については、毎月1回クラスだよりと園だよりを発行して保護者へ発信している。	・HPについては今年度新しいものに移行の作業を行っており、情報公開の整備が不十分な時期があった。早急に整備していく。 ・次年度よりインスタグラムを開設する。よりタイムリーな情報公開を行っていく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報については同意書にそって取り扱いに十分に配慮し取り扱っている。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・わかりやすい言葉で区切って伝える、また必要に応じて視覚支援を用いながら伝えるようにしている。	・伝え方については、子どもにとって保護者にとっても「その方にあわせた、わかりやすい伝え方」の配慮を常に行うことが大切であると考える。子どものアセスメントをしっかりと実施し、家族の背景等も把握しながらコミュニケーションを図る必要があると感じている。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問する際には必ず情報交換や助言等の機会を設けている。 ・要望があれば、訪問先の職員研修などのご相談にも応じている。	・訪問先にて、発達にきがりなことがあるお子さんへの支援を充実させるために体制を整えていきたいというお話があがっている。本事業所でお手伝いできる部分については、積極的にご相談に応じていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問実施後のカンファレンスについては、実施形態や実施時間、回数について、訪問先の要望をおききしながらすすめている。	・現場のニーズをはかりながら、双方にとって無理なく有益な方法を模索していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・報告書等で内容共有を行っている。緊急に対応が必要など気がかりな案件についてはすぐに電話連絡をして、より迅速に共有するよう心がけている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・訪問にて知りえた情報については支援内容の改善に活かす目的で活用することとし、守秘義務を守るように互いに確認をしている。 ・訪問先に発達検査の報告等を行う場合は、必ず保護者の同意を得た上でやっている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・訪問支援をご利用のケースについてはもちろんのこと、利用にはいたっていないが気がかりなケースについても相談に応じている。	・一方的な助言に陥ることがないよう、互いの考えや方針を出し合いながら、「ともに歩む・考える・つくりあげる」姿勢で臨むよう心がけている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルは作成しているが、保護者への周知はできていない。 ・防犯研修、避難訓練等を実施している。	・マニュアルについてはHPIにて公開する、実施状況についてはインスタグラムで公開する等、保護者が自由に、かつタイムリーに閲覧できるようにしていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成は完了している。 ・避難訓練、防犯訓練の実施をしている。	・避難訓練については、座学も含め内容が固定化しないよう留意する。非常用の滑り台を使用した訓練についても定期的に行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットは日誌に記入することで、気軽に出し合えるように工夫している。	・気軽に出し合えるようにしているが、なかなか記載が継続しないため、検討していく必要があると考える。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年度初めに必ず身体拘束・虐待防止についての研修を実施している。年度途中でも再度研修の機会を設け、振り返りの機会を頻繁にもつようにした。 ・あわせてチェックリストやストレスチェックも活用している。	・研修内容については、基本となる大切なポイントは毎年おさえつつ、年度によって、現場の状況や国の情勢も加味しながら題材等を選んでいく必要があると考える。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在までに身体拘束を実施せざるをえなかった事例はない。身体拘束についての研修は年に一回必ず実施している。	・3原則について職員と確認しているが、どのような場合において行うかについては検討していく必要がある。